

対面形式
&
WEB配信

久留米大学バイオ統計センター 公開セミナー

安川 圭司 (久留米大学バイオ統計センター 教授)

レドックス疾患の磁気共鳴画像解析と
世帯電力・バイタル・生活習慣のデータ分析
～レドックス解析の基礎研究と臨床研究～

2024年 **8月26日** (月) 18:00 – 19:30

久留米大学バイオ統計センター コンピューター室 (医学部B棟7階)

活性酸素やフリーラジカルなどの酸化因子とそれらを消去する還元因子とのレドックスバランスは生体内の恒常性維持に重要であり、その破綻は生活習慣病やガン、炎症などの発症を誘発することが指摘されている。

生体内レドックス状態の個体レベルでの評価手法として、動的核偏極磁気共鳴画像などの画像化法が用いられている。本法はレドックス状態を無(低)侵襲かつ高感度に評価でき、様々な疾患モデル動物での解析が報告されている。そこで、本セミナーの前半では、レドックス解析の基礎研究の一例として、レドックスの磁気共鳴画像評価手法について概説し、デキストラン硫酸ナトリウム誘発大腸炎モデルマウスを例に解析結果を紹介する。

ITを活用した健康支援システムによるバイタルや生活習慣データの収集は被験者の行動変容を促し、レドックス異常の改善を介して病気の発症を予防できる可能性がある。また、日常生活を送る上で電気の使用は不可欠であることから、自宅での電力使用量は生活習慣を反映している可能性がある。そこで、本セミナーの後半では、福岡近郊の健常者を対象にIT健康支援システムを用いて世帯電力使用量とバイタル・生活習慣に関するデータを収集し、それらの関連性について統計解析した結果について紹介する。

申込方法

下記 URL または QRコードより、前日10:00までにお申込みください。
<https://biostat-kurume.stores.jp/>



お問い合わせ

久留米大学バイオ統計センター 公開セミナー係
✉ biostat_seminar@med.kurume-u.ac.jp